

日時：平成 25 年 3 月 4 日(月)

午前 10 時～12 時

会場：市役所 402 会議室

次 第

開会

1. 市民意見について
2. 平成 25 年度取組方針について
3. (仮称) 鎌倉市子ども・子育て会議について
4. 平成 25 年度スケジュールについて
5. その他

出席者（敬称略）

- 松原 康雄 （明治学院大学 教授）
- 新保 幸男 （神奈川県立保健福祉大学 教授）
- 菊池 順子 （鎌倉市民生委員児童委員協議会 主任児童委員）
- 鎌上 真樹 （かまくら子育て支援グループ懇談会 副代表）
- 宮内 淑江 （鎌倉市手をつなぐ育成会 理事長）
- 富田 英雄 （鎌倉市保育会 会長）
- 藤枝 香織 （鎌倉市保育園保護者連絡会 副会長）
- 田島 敏子 （鎌倉私立幼稚園父母の会連合会 役員）
- 吉田 真弓 （鎌倉市立小学校長会 鎌倉市立稲村ヶ崎小学校校長）
- 大鐘 亜子 （鎌倉市 P T A 連絡協議会 副会長）
- 下山 浩子 （鎌倉市青少年指導員連絡協議会 副会長）
- 堀田 絵里 （市民公募委員）

欠席者（敬称略）

- 矢崎 岳人 （鎌倉商工会議所 青年部会長）
- 平井 麻衣子 （鎌倉青年会議所 理事）
- 金川 剛文 （鎌倉市社会福祉協議会 常務理事）
- 佐藤 弘美 （鎌倉保健福祉事務所 保健福祉課長）
- 中村 邦彦 （鎌倉私立幼稚園協会 振興部長）
- 秋山 定明 （鎌倉市立中学校長会 鎌倉市立深沢中学校校長）

庁内推進委員会委員

相澤こどもみらい部長、福谷こどもみらい部次長兼こどもみらい課長、青山文化人権推進課長、高木市民安全課長、田中スポーツ課長、進藤こどもみらい部次長兼保育課長、朴澤こども相談課長、能條青少年課長、安田発達支援室長、藤田福祉総務課課長補佐（代理出席）、曾根生活福祉課長、廣瀬障害者福祉課事務職員（代理出席）、大澤健康福祉部次長兼市民健康課長、持田保険年金課長、伊東公園課担当課長、三留教育総務課長、平井教育総務課課長代理、川合教育指導課長

松原委員長・・・ 定刻になりましたので、平成24年度第3回鎌倉市次世代育成支援対策協議会を始めます。

委員の皆さんには、お忙しい中ご出席を頂きましてありがとうございます。

なお、この協議会は、当協議会設置要綱の第6条に基づき公開といたします。本日は傍聴の方が2名いると伺っております。（このうち1名欠席）

それでは、本日の次第に沿って進めていきますが、まず資料の確認から、事務局お願いします。

事務局・・・ まず、平井委員、金川委員、佐藤委員、中村委員、秋山委員からご欠席の連絡をいただいておりますことを報告いたします。（矢崎委員についても欠席を確認）

<配布資料の説明>

次第1 市民意見について

松原委員長・・・ それでは、資料の確認が終わりましたので、次第1市民意見について事務局から説明をお願いします。

事務局・・・ <市民意見について説明>

松原委員長・・・ 市民意見について、資料1と2で事務局から説明がありました。このことについてご意見などありましたら伺いたいと思います。

鎌上委員・・・ 主な意見に対する回答ですが、どこまで公表されるのですか。アンケートを書いた皆様に回答が配付されるわけではないと思いますが、ホームページに掲載するなど、公開はど

うなっていますか。

事務局・・・ 鎌倉市のホームページで公開します。

鎌上委員・・・ ホームページで公開するということや、公開の時期については、アンケートを配付する際に説明をしていますか。

事務局・・・ 結果の公開方法については、アンケートに載せていませんでしたので、次回から記載します。ありがとうございます。

松原委員長・・・ ありがとうございます。寄せられた意見に対しては回答を掲示することが大事ですね。先程昨年度との比較で年代等教えていただきましたが、例えば認知度や施策の評価の質問項目で昨年度の同時期のものとの比較があれば教えていただきたいです。

事務局・・・ 「2鎌倉市次世代育成きらきらプランを知っていましたか」という問いに対して、今年度は38.1%が「知っていた」と答えたのに対し、昨年度は34.6%でしたので、多少増加しています。「4鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか」の問いに対し、今年度は「とてもそう思う」「少しそう思う」と答えた方の合計が46.9%のところ、昨年度は55.4%となっています。

松原委員長・・・ 誤差の範囲で、あまり動いていないところですね。ご意見も含めてご発言いかがですか。

堀田委員・・・ 認知と周知の件に対しての意見です。団体のスペースに伺った際に配付ということが多いと思うのですが、例えば0歳児については助産師訪問のときに白書があるという紹介をし、アンケートを書いていただくということはいかがでしょうか。内容が多くはないので、その場で書いていただくこともできると思います。

事務局・・・ 助産師訪問の際には行っておりません。1歳6か月児健診の際には行っているのですが、拡大していけるか原課と相談します。

松原委員長・・・健診の際は、健診に集中していますから、自宅に訪問してゆっくり書く機会も必要かもしれませんね。他にいかがでしょうか。

富田委員・・・・資料2の9番目の回答欄でふたつほどお聞きしたいことがあります。

「25年度の目標値の設定はありません」とありますが、なぜ設定がないのですか。

北鎌倉周辺には保育園が無く、また鎌倉地域には材木座と稲瀬川保育園しかない、とありますが、材木座、稲瀬川保育園は2園とも公立園であり、児童福祉審議会の活動が活発だったころから、二階堂、浄明寺に保育園が無く、あの辺りの人は、材木座保育園か稲瀬川保育園に行くしかなかった。幼稚園協会としては充足していると言うし、鎌倉市では増やすことは難しいと言うし、その辺りをどうお考えなのですか。また、旧今井邸、鈴木邸の場所ですが、はどの辺りですか。

それともう一点、55番についてですが、海浜プールは、鎌倉市のスポーツ振興審議会でも議題になっていて、多く審議会委員が延長を求めています、昨年度は9月15日までだったと思います。がけ崩れが危ない、津波が来たら困るから閉鎖しようとか、公園にするという話があったかと思います。その際のスポーツ課の回答とは違っていますがいかがですか。

保育課長・・・・25年度の目標値についてですが、25年度できらきらプランの26年度の目標値を超えますので、設定していないという回答となっています。ただ、ニーズは伸びていますので、さらに整備を進めてまいります。

江ノ島電鉄線の由比ヶ浜駅の北側に鈴木邸・今井邸がありまして、5,000㎡程の広さです。その土地を活用して保育園を作る計画を現在進めているところです。

北鎌倉周辺に保育園が無く、鎌倉地域には材木座保育園と稲瀬川保育園だけである、という点ですが、鎌倉地域は確かに、保育園の建設計画自体がなかなか難しい状況ですが、今年度につきましては、幼稚園のご協力をいただきまして、認定子ども園化を図る、既存の保育施設の定員を拡大する、ということになります。

スポーツ課長・・・・海浜公園プールですが、22年度から9月15日までの営業を9月7日までにしています。これは、財政状況や、9月に入ってから利用者数を勘案して、変更しています。整備については、海拔3メートル、海から70メートルと、地震、津波の懸念が大きいこと

や、施設自体も作ってから 58 年たつて老朽化していることもあり、仮設の管理棟を建てて管理し、避難ルート等も検討している状況です。また、稲村ヶ崎小学校、第一小学校、御成小学校の 3 校が水泳の授業で使っていることも踏まえまして、プールの整備状況を検討していきます。

松原委員長・・・他に何かありますか。

<意見等なし>

次第 2 平成 25 年度取組方針について

松原委員長・・・ それでは次に、次第 2 平成 25 年度取組方針について、事務局から説明をお願いします。

事務局・・・ <平成 25 年度取組方針について説明>

松原委員長・・・ ご質問ご意見があれば伺います。

田島委員・・・ 4 ページ目の 17 番ですが、具体的に訪問支援員というのは、どういった方がいらっしゃるのでしょうか。

発達支援室長・・・ 訪問支援員として実際に活動するのは、児童指導員、言語聴覚士、心理士、その他必要な者と考えております。

次第 3 (仮称) 鎌倉市子ども・子育て会議について

松原委員長・・・ それでは、次第 3 (仮称) 子ども・子育て会議について、事務局から説明をお願いします。

事務局・・・ <(仮称) 鎌倉市子ども・子育て会議について説明>

松原委員長・・・ (仮称) 鎌倉市子ども・子育て会議について、説明がありました。説明の中で、来年度の

予定も少し説明がありましたので、このまま次第4平成25年度スケジュールについて、も説明していただいて、その後質問やご意見をいただきます。

次第4 平成25年度スケジュールについて

事務局・・・＜平成25年度スケジュールについて説明＞

松原委員長・・・ それでは、次第3の来年度からの（仮称）鎌倉市子ども・子育て会議と、次第4の平成25年度スケジュールに関してご質問やご意見を伺いたいと思います。

堀田委員・・・ 推進委員会と、推進会議というのは、別の日程で行うのでしょうか。

事務局・・・ 推進委員会は、市役所の庁内の課長が出席する会議で、その開催後、子ども子育て会議を開催します。

堀田委員・・・ 意見募集とニーズ調査の具体的な方法を教えてください。

事務局・・・ ニーズ調査については、これから国の方針が具体的に示されるのですが、21年度の次世代育成きらきらプラン策定のとくとほぼ同じではないかと推測しています。

市内の就学前のお子さんを持つ世帯、就学後のお子さんを持つ世帯の中から、無作為に抽出して、国から示された調査項目に市独自の項目を加えまして、調査をさせていただくことになります。意見聴取につきましては、市独自で白書のときのように団体別に伺わせていただき、直接やりとりをさせていただくということを考えています。

堀田委員・・・ ホームページ上での意見募集はいかがですか。

事務局・・・ 計画を作るに当たっては、必ずパブリックコメントを実施しますので、そこでの意見募集も行います。

堀田委員・・・ パブリックコメントの意見数はどのくらいになるのですか。

事務局・・・ 前回の会議ときのものにつきましては、いま手持ち資料がありませんので、調べて後ほど回答いたします。(後日回答：意見提出者 27 人、意見総数 62 件)

松原委員長・・・ 他にはいかがですか。今の堀田委員の質問の元にあるところで、きらきらプランの周知が進まない、子ども子育て会議や事業計画といったものについても、市民への広報、周知の方法によって、パブリックコメントで得られるものも変わってくると思いますので、広報周知の計画があれば伺いたい。

事務局・・・ 現在は市のホームページや広報でのお知らせ、皆様にご協力いただければ、各団体へ出向いての説明もさせていただきたいと思っています。先日も幼稚園協会の園長先生の集まる会議に伺い、説明させていただきました。ご要望があれば、日程調整をさせていただき、出向いて説明させていただきたいと思っています。

松原委員長・・・ 関心のある方はアクセスするけれども、関心の無い方はしないので、こちらから出向いて説明会をやっていただかないと、関心を持っていただけないので、出前説明会をやっていただきたいと思います。子ども子育て会議の委員の追加の希望があれば伺いますが、いかがでしょうか。会議の構成メンバーはあくまで案ですので、こういった人たちが入るといい、というものがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。鎌倉市なりの工夫はできるということでもいいですね。

事務局・・・ はい。

富田委員・・・ 資料5のメンバーのうちの、認可外保育施設設置者(新)、というものがありますが、現在市内に認可外保育所はいくつあるのですか。

保育課長・・・ 認定保育施設と言いまして、現在3園です。

富田委員・・・ 名前を教えてくださいませんか。

保育課長・・・ 鎌倉地域の保育所のぞみ、大船地域の保育室みつばち、玉縄地域の保育室アーモ玉縄です。

松原委員長・・・ 3園で組織を持つというよりは、個別に連絡をするようになるのですか。

保育課長・・・ 組織にはなっていないので、それぞれに意向確認をして、代表を選んでいく予定です。

富田委員・・・ 認定こども園はいくつありますか。

保育課長・・・ アワーキッズが鎌倉地域と大船地域で2園、玉縄地域のみどり幼稚園が、みどり保育園開園により、平成25年4月から認定こども園となります。大船地域のおおぞら幼稚園では、平成25年4月からプレップおおぞらという名称で0から2歳対象とした小規模な保育園を開園し、平成26年度から認定こども園として開園する予定ですので、このことを考慮すると施設としては4つ、法人としては3つです。

富田委員・・・ 認定こども園は団体としてまとまっていますか。

保育課長・・・ まだ、組織としてはできていません。

松原委員長・・・ 事務局からは何かありますか。

事務局・・・ 先ほどの子ども子育て会議について、市独自のメンバーも可能ですが、皆様の任期が25年度から3年間となっております。庁内推進委員会でも話題になりまして、労働者を代表する者に、商工会議所、青年会議所を当てていますが、労働組合の代表などが出るべきなどというご意見はありますか。

松原委員長・・・ 他の自治体だと、労働組合の方が入っているところもありますね。子育て関係の企業が入っている自治体もあります。

少し外部団体との調整もありますので、行政でお考えいただくということでよいかと思います。ニーズ調査の項目案をこの会議で議論はできますか。

事務局・・・ 10月に第2回目の会議を予定していますので、市で案を示すことができると思います。

松原委員長・・・ ニーズ調査について聞いてほしいこと等あれば、ご意見を伺いたいと思います。

<意見等なし>

松原委員長・・・ 国の計画が重なってしまいますので、次世代の行動計画についても議論していただきながら、子ども子育て事業計画についても議論していただくことになります。内容としては重なることも多いとは思いますが。

新保委員・・・ 子ども子育て会議のメンバーについてですが、ひとり親家庭の方がいらっしゃいません。このメンバーも必要かと思いますが、全体のバランスもありますから事務局でご検討いただければと思います。

松原委員長・・・ 事務局でご検討いただければと思います。神奈川県の子童福祉審議会のメンバーには入っていますね。他にはよろしいですか。

障害関係は25年度から変わってきますので、それを見ながら、ということになります。

次第5 その他

松原委員長・・・ それでは、次第5その他、ですが、事務局から何かありますか。

事務局・・・ <事務局から連絡>

松原委員長・・・ 事務局から会議録の件と、来年度の委員についての説明がありましたが、質問等ございますか。最後に何かご発言等ありますか。なければ会議を終了させていただきます。

<質問等なし>

松原委員長・・・ 本日本日予定いたしましたすべての議事が終了いたしました。それでは事務局お願いします。

こどもみらい課長・・・ 本日は長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございます。これをもちま

して、平成 24 年度第 3 回鎌倉市次世代育成支援対策協議会を閉会といたします。

今年度最後の協議会となりますので、こどもみらい部長・相澤からご挨拶させていただきます。

こどもみらい部長・・・委員の皆様には一年間、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。協議会の中で皆様からさまざまな貴重なご意見をいただきました。きらきら白書の発行に際しましては、団体別説明会の日程の調整や、アンケートの回収にご協力いただきましてありがとうございました。

厳しい財政状況ではありますが、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」を目指しまして、予算についてはこどもみらい部としては、若干の増となる見込みであります。

今年度最後ということで、来年度委員の立場を離れる方もいらっしゃいますが、委員の立場を離れましても、次世代育成を地域の中で行っていただけますよう、よろしく願いいたします。また、改めて、私どもが行っている次世代育成きらきらプランの推進についてもご支援賜りますようお願い申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。

松原委員長・・・それではどうもありがとうございました。